スイーツセミナー

座長： 木島 貴志
兵庫医科大学病院　呼吸器内科　主任教授

演題名
EGFR 阻害薬による皮膚障害のマネジメント
―アミバンタマブ＋ラゼルチニブ併用療法を中心に―

山本有紀
和歌山県立医科大学病院教授
和歌山県立医科大学医学部皮膚科准教授

EGFR 阻害薬による皮膚障害は、患者の生活の質（QOL）を低下させ、がん薬物療法の継続にも影響する重要な有害事象である。とりわけ、EGFR・MET 二重特異性抗体アミバンタマブと第 3 世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害薬ラゼルチニブの併用療法においては、ざ瘡様皮疹、爪囲炎、皮膚乾燥、瘙痒（そう痒）などへの適切なマネジメントが日常診療の重要課題となる。
本講演では、EGFR 阻害に伴う皮膚障害の発症機序と基本病態を概説したうえで、同併用療法特有の臨床像と対策を解説する。特に、顔面・体幹のざ瘡様皮疹や頭皮病変、疼痛により日常生活動作（ADL）を制限しうる爪囲炎に着目し、重症度評価、二次感染の鑑別、外用・内服療法の選択、さらには皮膚科専門医への紹介や休薬・減量を検討すべきタイミングを整理する。
さらに、治療開始前からの患者教育、スキンケア（保湿・遮光・爪の保護）、予防的薬物療法の位置づけと本邦の実臨床への応用を考察する。早期発見・早期介入を可能にする診療科・多職種間の連携体制を含め、治療継続と QOL 維持を両立する実践的な皮膚障害管理について提示したい。